

表 9

化学的酸素要求量 (COD) に係る総量規制基準 (第 7 次)

整理 番号	業種その他の区分	化学的酸素要求量		
		(単位: mg/L)		
		Cc・ Cco	Cci	Ccj
2	畜産農業	70	70	60
3	天然ガス鉱業	60	60	60
4	非金属鉱業	20	20	20
5	部分肉・冷凍肉製造業又は肉加工品製造業	40	40	30
6	乳製品製造業	30	30	20
	備考 平成 8 年 9 月 1 日以後に特定施設の設置又は構造等の変更により増加する特定排出水の量を除く特定排出水の量にあっては	30	30	30
7	畜産食料品製造業(前二項に掲げるものを除く。)	40	40	30
8	水産缶詰・瓶詰製造業	40	40	30
9	寒天製造業	55	55	55
10	魚肉ハム・ソーセージ製造業	30	30	20
11	水産練製品製造業(前項に掲げるものを除く。)	30	30	20
12	冷凍水産物製造業	30	30	20
13	冷凍水産食品製造業	40	40	30
14	水産食料品製造業(整理番号 8 の項から前項までに掲げるものを除き、魚介類塩干・塩蔵品製造業を含む。)	40	40	30
15	野菜缶詰・果実缶詰・農産保存食料品製造業	30	30	30
16	野菜漬物製造業	40	40	30
17	味そ製造業	70	70	30
18	しょう油・食用アミノ酸製造業	70	70	40
19	うま味調味料製造業	20	20	20
20	ソース製造業	30	30	30
21	食酢製造業	60	50	30
22	砂糖精製業	40	40	30
23	ぶどう糖・水あめ・異性化糖製造業	50	50	30
24	小麦粉製造業	30	30	30
25	パン製造業	30	30	20
26	生菓子製造業	40	40	30
27	ビスケット類・干菓子製造業	40	40	30
28	米菓製造業	40	40	40
29	パン・菓子製造業(整理番号 25 の項から前項までに掲げるものを除く。)	40	40	30
30	植物油脂製造業	40	40	30
31	動物油脂製造業	40	40	30
32	食用油脂加工業	40	40	30
33	ふくらし粉・イースト・その他の酵母剤製造業	50	50	40
34	穀類でんぷん製造業	50	50	40
35	めん類製造業	30	30	30
37	豆腐・油揚げ製造業	35	30	30
38	あん類製造業	60	60	40
39	冷凍調理食品製造業	30	20	20
40	そう(惣)菜製造業のうち煮豆の製造に係るもの	30	30	30
41	清涼飲料製造業	20	20	20
42	果実酒製造業	30	30	30
43	ビール製造業	30	30	30
44	清酒製造業	30	30	30
45	蒸留酒・混成酒製造業	30	30	20
46	インスタントコーヒー製造業	20	20	20
47	配合飼料製造業	20	20	20

表 9

化学的酸素要求量(COD)に係る総量規制基準（第7次）

整理 番号	業種その他の区分	化学的酸素要求量		
		(単位：mg/L)		
		Cc・ Cco	Cci	Ccj
48	単体飼料製造業	20	20	20
49	有機質肥料製造業	20	20	20
50	たばこ製造業	30	20	20
51	生糸製造業(副蚕糸精練業を含む。)	30	30	30
55	繊維工業(前項に掲げるもの及び衣服その他の繊維製品に係るものを除く。以下同じ。)で整毛工程に係るもの	75	75	70
57	繊維工業で麻製織工程に係るもの	90	90	90
58	繊維工業で毛織物機械染色整理工程(のり抜き、精練漂白、シルケット加工その他の染色整理工程に付帯して行われる加工処理工程(以下「染色整理工程付帯加工処理工程」という。))を含む。)に係るもの	40	40	30
59	繊維工業で織物機械染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの(前項に掲げるものを除く。)	80	80	80
60	繊維工業で織物手加工染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの	90	90	90
61	繊維工業で綿状繊維・糸染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの	50	50	50
62	繊維工業でニット・レース染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの	50	50	50
63	繊維工業で繊維雑品染色整理工程(染色整理工程付帯加工処理工程を含む。)に係るもの	90	90	80
64	繊維工業で不織布製造工程に係るもの	70	70	60
65	繊維工業でフェルト製造工程に係るもの	40	40	40
66	繊維工業で上塗りした織物及び防水した織物製造工程に係るもの	40	40	40
67	繊維工業で繊維製衛生材料製造工程に係るもの	40	40	40
68	繊維工業(整理番号 55 の項から前項までに掲げるものを除く。)	30	30	30
69	一般製材業又は木材チップ製造業	40	40	40
71	合板製造業(集成材製造業を含む。)	30	30	30
	備考 接着機洗浄水を循環するもの	10	10	10
75	木材薬品処理業	20	20	20
76	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で溶解パルプ製造工程に係るもの	70	70	60
77	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でサルファイトパルプ製造工程に係るもの	60	60	60
78	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でグランドパルプ製造工程、リファイナードパルプ製造工程又はサーモメカニカルパルプ製造工程に係るもの	50	50	50
79	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で未さらしケミグランドパルプ製造工程又は未さらしセミケミカルパルプ製造工程に係るもの(次項に掲げるものを除く。)	70	70	70
80	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でさらしケミグランドパルプ製造工程(前工程の未さらしケミグランドパルプ製造工程を含む。)	80	80	80
	又はさらしセミケミカルパルプ製造工程(前工程の未さらしセミケミカルパルプ製造工程を含む。)			
81	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で未さらしクラフトパルプ製造工程に係るもの(次項に掲げるものを除く。)	60	50	40
82	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でさらしクラフトパルプ製造工程(前工程の未さらしクラフトパルプ製造工程を含む。)	70	70	60
	備考 精選工程においてドラム型洗浄機を使用しているもの	80	70	60
83	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で古紙を原料とするパルプ製造工程に係るもの(次項に掲げるものを除く。)	60	60	50

表 9

化学的酸素要求量 (COD) に係る総量規制基準 (第 7 次)

整理 番号	業種その他の区分	化学的酸素要求量		
		(単位 : mg/L)		
		Cc・ Cco	Cci	Ccj
84	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で古紙を原料とし脱インキ又は漂白を行うパルプ製造工程(前工程の離解工程を含む。)に係るもの	90	90	80
85	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で木材又は古紙以外のものを原料とするパルプ製造工程に係るもの	100	100	70
86	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業でグランドパルプ、リファイナークラウドパルプ又はサーモメカニカルパルプを主原料とする洋紙製造工程(前工程のグランドパルプ、リファイナークラウドパルプ又はサーモメカニカルパルプ製造工程を有するものに限り。)に係るもの	50	40	40
87	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で洋紙製造工程に係るもの(前項に掲げるものを除く。)	30	20	20
88	パルプ製造業、洋紙製造業又は板紙製造業で板紙製造工程に係るもの	40	40	40
89	機械すき和紙製造業	60	60	60
90	手すき和紙製造業	90	90	80
91	塗工紙製造業	20	20	20
92	段ボール製造業	20	20	15
93	重包装紙袋製造業	70	70	70
94	セロファン製造業	25	25	15
95	乾式法による繊維板製造業	40	40	40
96	繊維板製造業(前項に掲げるものを除く。)	80	80	60
97	パルプ製造業、紙製造業又は紙加工品製造業(整理番号 76 の項から前項までに掲げるものを除く。)	20	20	20
100	印刷業(新聞その他の出版物を印刷するものを含む。)	50	50	50
101	製版業	50	50	50
102	窒素質・燐酸質肥料製造業	30	30	30
103	複合肥料製造業	30	30	30
104	化学肥料製造業(前二項に掲げるものを除く。)	30	30	30
105	ソーダ工業	20	20	20
106	電炉工業	20	20	20
107	無機顔料製造業	20	20	20
	備考 黄鉛製造工程を有するものにあつては	60	60	50
108	無機化学工業製品製造業(整理番号 105 の項から前項までに掲げるものを除く。)	20	20	20
	備考(1) 硫化鉄鉱を原料とする酸化鉄(顔料を除く。)製造工程にあつては	40	40	40
	備考(2) 希硫酸による二酸化硫黄の洗浄工程を有する硫酸製造工程にあつては	50	50	50
109	石油化学系基礎製品製造業で脂肪族系中間物製造工程に係るもの	60	60	40
	備考(1) 青酸誘導品含有排水を排出する工程にあつては	150	150	150
	備考(2) 塩素化合物触媒を用いたアセトン又はアセトアルデヒドの製造工程にあつては	100	80	80
	備考(3) エピクロルヒドリン製造工程にあつては	140	130	130
110	石油化学系基礎製品製造業で環式中間物・合成染料・有機顔料製造工程に係るもの	50	50	30
	備考 合成染料又は合成染料中間物の製造工程にあつては	190	190	180
111	石油化学系基礎製品製造業でプラスチック製造工程に係るもの	30	20	20
	備考 メチルメタクリレート樹脂又はアクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合樹脂の製造工程にあつては	70	70	70
112	石油化学系基礎製品製造業で合成ゴム製造工程に係るもの	40	40	40
	備考(1) 乳化重合法による合成ゴム製造工程にあつては	50	50	50
	備考(2) クロロブレンゴム製造工程にあつては	130	130	130

表 9

化学的酸素要求量 (COD) に係る総量規制基準 (第 7 次)

整理 番号	業種その他の区分	化学的酸素要求量		
		(単位 : mg/L)		
		Cc・ Cco	Cci	Ccj
113	石油化学系基礎製品製造業で有機化学工業製品製造工程(脂肪族系中間物製造工程、環式中間物・合成染料・有機顔料製造工程、プラスチック製造工程及び合成ゴム製造工程を除く。)に係るもの	50	50	50
	備考(1) 有機ゴム薬品製造工程にあつては	270	260	260
	備考(2) 有機農薬原体製造工程にあつては	180	180	160
114	石油化学系基礎製品製造業(整理番号 109 の項から前項までに掲げるものを除く。)	60	40	40
115	脂肪族系中間物製造業	60	60	50
	備考(1) 青酸誘導品含有排水を排出する工程にあつては	210	210	190
	備考(2) 塩素化合物触媒を用いたアセトン又はアセトアルデヒドの製造工程にあつては	100	80	80
	備考(3) エピクロルヒドリン製造工程にあつては	140	130	130
116	メタン誘導品製造業	30	30	20
117	発酵工業	120	110	110
118	コーラル製品製造業	120	120	120
119	環式中間物・合成染料・有機顔料製造業	50	50	30
	備考 合成染料又は合成染料中間物の製造工程にあつては	190	190	190
120	プラスチック製造業	30	20	20
	備考(1) メチルメタクリレート樹脂又はアクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合樹脂の製造工程にあつては	70	50	50
	備考(2) 硝酸セルロース又は酢酸セルロースの製造工程にあつては	60	60	50
121	合成ゴム製造業	40	40	40
	備考(1) 乳化重合法による合成ゴム製造工程にあつては	70	70	70
	備考(2) クロロブレンゴム製造工程にあつては	130	130	130
122	有機化学工業製品製造業(整理番号 109 の項から前項までに掲げるものを除く。)	50	50	50
	備考(1) 有機ゴム薬品製造工程にあつては	150	150	150
	備考(2) 有機農薬原体製造工程にあつては	180	180	160
123	レーヨン・アセテート製造業のうちレーヨンの製造に係るもの	50	30	20
124	レーヨン・アセテート製造業のうちアセテートの製造に係るもの	30	30	30
125	合成繊維製造業	30	20	20
	備考 アクリル系繊維製造工程にあつては	60	40	30
126	脂肪酸・硬化油・グリセリン製造業	40	40	30
127	石けん・合成洗剤製造業	10	10	10
128	界面活性剤製造業(前項に掲げるものを除く。)	40	40	40
129	塗料製造業	40	40	40
130	印刷インキ製造業	40	40	30
131	医薬品原薬・製剤製造業	70	70	60
132	医薬品製剤製造業	30	30	30
133	生物学的製剤製造業	30	30	30
134	生薬・漢方製剤製造業	20	20	20
135	動物用医薬品製造業	60	60	50
136	火薬類製造業	20	20	20
	備考 硝酸エステル又はニトロ化合物の製造工程にあつては	60	60	50
137	農薬製造業	30	30	20
138	合成香料製造業	120	110	110
139	香料製造業(前項に掲げるものを除く。)	30	30	20
140	化粧品・歯磨・その他の化粧用調整品製造業	30	30	20

表 9

化学的酸素要求量 (COD) に係る総量規制基準 (第 7 次)

整理 番号	業種その他の区分	化学的酸素要求量			
		(単位 : mg/L)			
		Cc・ Cco	Cci	Ccj	
142	ゼラチン・接着剤製造業(にかわ製造業を含む。)	20	20	20	
143	写真感光材料製造業	10	10	10	
144	天然樹脂製品・木材化学製品製造業	40	40	40	
145	イオン交換樹脂製造業	160	160	130	
146	化学工業(整理番号 102 の項から前項までに掲げるものを除く。)	40	40	40	
147	石油精製業	20	20	20	
	備考 潤滑油製造工程を有するものにあつては	30	30	30	
148	潤滑油製造業(前項に掲げるものを除く。)	30	30	30	
	備考 硫酸洗浄工程を有するものにあつては	40	40	40	
149	コークス製造業	180	180	90	
150	石油コークス製造業	70	70	50	
151	自動車タイヤ・チューブ製造業	10	10	10	
152	ゴム製品製造業でラテックス成型型洗浄工程に係るもの	60	40	40	
153	ゴム製品製造業(前二項に掲げるものを除く。)	20	20	20	
154	なめしかわ製造業	100	100	100	
155	毛皮製造業	50	50	50	
156	板ガラス製造業	(1) 日平均排水量が 10,000m ³ 以上の指定地域内事業場に限る。	10	10	10
		(2) 日平均排水量が 10,000m ³ 未満の指定地域内事業場に限る。	15	10	10
157	板ガラス加工業	(1) 日平均排水量が 10,000m ³ 以上の指定地域内事業場に限る。	10	10	10
		(2) 日平均排水量が 10,000m ³ 未満の指定地域内事業場に限る。	15	10	10
158	ガラス製加工素材製造業	(1) 日平均排水量が 10,000m ³ 以上の指定地域内事業場に限る。	10	10	10
		(2) 日平均排水量が 10,000m ³ 未満の指定地域内事業場に限る。	15	10	10
159	ガラス容器製造業	(1) 日平均排水量が 10,000m ³ 以上の指定地域内事業場に限る。	10	10	10
		(2) 日平均排水量が 10,000m ³ 未満の指定地域内事業場に限る。	15	10	10
160	理化学用・医療用ガラス器具製造業	(1) 日平均排水量が 10,000m ³ 以上の指定地域内事業場に限る。	10	10	10
		(2) 日平均排水量が 10,000m ³ 未満の指定地域内事業場に限る。	15	10	10
161	卓上用・ちゅう房用ガラス器具製造業	(1) 日平均排水量が 10,000m ³ 以上の指定地域内事業場に限る。	10	10	10
		(2) 日平均排水量が 10,000m ³ 未満の指定地域内事業場に限る。	15	10	10
162	ガラス繊維(長繊維に限る。）・同製品製造業	50	50	50	
163	ガラス繊維・同製品製造業(前項に掲げるものを除く。)	30	30	30	
164	ガラス・同製品製造業(整理番号 156 の項から前項までに掲げるものを除く。)	15	10	10	
165	生コンクリート製造業	10	10	10	
166	コンクリート製品製造業	10	10	10	
167	セメント製品製造業(前二項に掲げるものを除く。)	10	10	10	
168	黒鉛電極製造業	20	20	20	
169	砕石製造業	20	20	20	

表 9

化学的酸素要求量 (COD) に係る総量規制基準 (第 7 次)

整理 番号	業種その他の区分	化学的酸素要求量		
		(単位 : mg/L)		
		Cc・ Cco	Cci	Ccj
170	鋳物・土石粉碎等処理業	20	20	20
172	うわ薬製造業	20	20	20
173	高炉による製鉄業	10	10	10
	備考 コークス炉を有するものにあつては	40	30	30
175	フェロアロイ製造業	20	20	20
176	高炉によらない製鉄業(前項に掲げるものを除く。)	10	10	10
178	製鋼・製鋼圧延業(転炉(単独転炉を含む。))又は電気炉(単独電気炉を含む。) によるものに限る。)	20	20	20
179	熱間圧延業(整理番号 182 の項及び同 183 の項に掲げるものを除く。)	20	20	20
180	冷間圧延業(整理番号 182 の項及び同 183 の項に掲げるものを除く。)	20	20	20
181	冷間ロール成型形鋼製造業	20	20	20
182	鋼管製造業	20	20	20
183	伸鉄業	10	10	10
184	磨棒鋼製造業	10	10	10
185	引抜鋼管製造業	10	10	10
186	伸線業	10	10	10
187	ブリキ製造業	20	20	20
188	亜鉛鉄板製造業	20	20	20
189	めっき鋼管製造業	20	20	20
190	めっき鉄鋼線製造業	20	20	20
191	表面処理鋼材製造業(整理番号 187 の項から前項までに掲げるものを除く。)	10	10	10
192	鍛鋼製造業	10	10	10
193	鍛工品製造業	10	10	10
194	鋳鋼製造業	10	10	10
195	鋳鉄鋳物製造業(次項及び整理番号 197 の項に掲げるものを除く。)	10	10	10
196	鋳鉄管製造業	10	10	10
197	可鍛鋳鉄製造業	10	10	10
198	鉄粉製造業	10	10	10
199	鉄鋼業(整理番号 173 の項から前項までに掲げるものを除く。)	10	10	10
200	非鉄金属製造業	15	10	10
201	電気めっき業	40	40	40
202	金属製品製造業(前項に掲げるものを除く。)	20	10	10
203	一般機械器具製造業	15	10	10
204	電子回路製造業	20	20	20
205	電子部品・デバイス・電子回路製造業(前項に掲げるものを除く。)、電気機 械器具製造業又は情報通信機械器具製造業	15	10	10
206	輸送用機械器具製造業	10	10	10
207	精密機械器具製造業	10	10	10
208	ガス製造工場	20	20	20
209	下水道業	20	20	20
	備考 標準活性汚泥法その他これと同程度に下水を処理することができる 方法より高度に下水を処理することができる方法により下水を処理するも のにあつては	20	15	15
210	空瓶卸売業	30	20	20
211	共同調理場(学校給食法(昭和 29 年法律第 160 号)第 6 条に規定する施設をい う。)	30	30	20
212	弁当仕出屋又は弁当製造業	50	40	30

表 9

化学的酸素要求量 (COD) に係る総量規制基準 (第 7 次)

整理 番号	業種その他の区分	化学的酸素要求量		
		(単位 : mg/L)		
		Cc・ Cco	Cci	Ccj
213	飲食店	50	40	30
	備考 平成 18 年 2 月 1 日以後に設置したし尿浄化槽を使用するものにあつては	30	30	30
214	宿泊業	50	40	30
	備考 平成 18 年 2 月 1 日以後に設置したし尿浄化槽を使用するものにあつては	30	30	30
215	リネンサプライ業	40	40	30
216	洗濯業(前項に掲げるものを除く。)	40	40	30
218	写真業(写真現像・焼付業を含む。)	60	60	60
219	自動車整備業	20	20	20
220	病院	50	30	30
	備考 平成 18 年 2 月 1 日以後に設置したし尿浄化槽を使用するものにあつては	30	30	30
221	し尿浄化槽(建築基準法施行令(昭和 25 年政令第 338 号)第 32 条第 1 項第 1 号の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が 501 人以上のものに限る。)	30	30	30
	備考(1) 平成 18 年 1 月 31 日以前に設置されたものであって、当該算定方法により算定した処理対象人員が 5,000 人以下のもの((3)に掲げるものを除く。)にあつては	40	30	30
	備考(2) (1)のうち、昭和 55 年建設省告示第 1292 号が適用される前のものにあつては	40	40	30
	備考(3) 平成 18 年 1 月 31 日以前に設置されたものであって、建築基準法施行令第 32 条第 1 項第 1 号の表に定める性能を有するし尿浄化槽より高度にし尿を処理することができる方法によりし尿を処理するものにあつては	30	20	20
	備考(4) 平成 18 年 2 月 1 日以後に設置されるものうち、建築基準法施行令第 32 条第 3 項第 2 号に規定する技術上の基準を満たす構造のし尿浄化槽より高度にし尿を処理することができる方法によりし尿を処理するものにあつては	15	15	15
222	し尿浄化槽(建築基準法施行令第 32 条第 1 項第 1 号の表に規定する算定方法により算定した処理対象人員が 201 人以上 500 人以下のものに限る。)	50	50	40
	備考(1) 昭和 55 年建設省告示第 1292 号が適用される前のものにあつては	70	70	40
	備考(2) 平成 18 年 2 月 1 日以後に設置されるものにあつては	30	30	30
223	し尿処理業(し尿浄化槽に係るものを除く。)	40	30	20
	備考(1) 昭和 62 年 6 月 30 日以前に設置されたもの((2)に掲げるものを除く。)にあつては	40	40	20
	備考(2) 嫌気性消化法、好気性消化法、湿式酸化法又は活性汚泥法に凝集処理法を加えた方法より高度にし尿を処理することができる方法によりし尿を処理するものにあつては	20	20	20
224	ごみ処理業	30	30	30
225	廃油処理業	20	20	20
226	産業廃棄物処理業(前項に掲げるものを除く。)	20	20	20
227	死亡獣畜取扱業	40	40	40
228	と畜場	40	40	40
229	中央卸売市場	20	20	20
230	地方卸売市場	20	20	20
231	試験研究機関(水質汚濁防止法施行規則(昭和 46 年総理府・通商産業省令第 2 号)第 1 条の 2 各号に掲げるものをいう。)	20	20	20

表 9

化学的酸素要求量 (COD) に係る総量規制基準 (第 7 次)

整理 番号	業種その他の区分			化学的酸素要求量			
				(単位 : mg/L)			
				Cc・ Cco	Cci	Ccj	
232	整理番号 2 の項 から前項までに 分類されないもの	(1)	指定地域内 事業場のし	ア 日平均排水量が 10,000m ³ 以上の指定 地域内事業場に限る。	25	10	10
			尿又は雑排 水の排出に 係る施設(整 理番号 221	イ 日平均排水量が 10,000m ³ 未満の指定 地域内事業場に限る。	30	25	25
			の項及び同 222 の項に 係るものを 除く。)	備考 イのうち、昭和 62 年 6 月 30 日以前に設置されたものにあつては	40	40	30
		(2)	(1)に分類されないもの		20	10	10